



クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任!
《SECRETS ～音楽の不思議～》

広島交響楽団 第448回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 448th Subscription Concert



コントラバス
エディクソン・ルイス
Contrabass : Edickson Ruiz

2025.2.15(土)

15:00開演 [14:00開場] Saturday February 15, 2025
Start 15:00 (Open 14:00)

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

コンサートマスター: 三上亮

Concertmaster: Ryo Mikami

ドヴォルザーク(没後120年)

交響曲第9番 ホ短調作品95 B.178

Dvořák: Symphony No.9 in E minor Op.95 B.178 "From the New World"

「新世界より」

Tuba: Double Bass Concerto

バーンスタイン「オン・ザ・タウン」より 3つのダンス・エピソード

Bernstein: Three Dance Episodes from On the Town

トウビン(生誕120年) コントラバス協奏曲

指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming



© Shumpei Ohsugi



アルミンク広響の「シン・世界」

多くの聴衆にとって、新たに迎える指揮者がシェフを務める楽団とどんな音楽創りを行うのか、というところに興味が集まるのは当然のことであり、その物差しとなり得るのが、名曲(有名曲)演奏といえる。これまでアルミンクとは首席客演指揮者として、ベートーヴェンやブラームス等の演奏を披露してきたが、これからは楽団を牽引する音楽監督としての手腕が試される。もちろん本定期を前にディスカバリーではモーツァルトのシリーズがスタートしているところだが、ロマン派のど真ん中をいく「新世界交響曲」は初披露であり、ある意味今後の命運を占う公演となろう。もちろん前半の趣意溢れるプログラムも楽しみにしていただきたい。

チケット(税込/全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2024年12月16日(月)

プレイガイド/

ローソンチケット(Lコード:60008)、チケットぴあ(Pコード:265-260)、広響事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

プレミアム協賛/



TANAKA ELECTRIC INDUSTRIES CO., LTD

田中電機工業株式会社

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

広響公式HP



第448回定期演奏会

指揮

クリスティアン・アルミンク Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍した。2017年から、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年4月に同団の音楽監督に就任。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。



©Shumpel Ohsugi

コントラバス

エディクソン・ルイス Contrabass : Edicson Ruiz

1985年カラカス生まれ。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団メンバー。11歳でコントラバスを始め、ホセ・アントニオ・アブレウ博士によって創設されたベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」のオーケストラに所属。フェリックス・プテに学んだ。15歳で、米インディアナポリスで開催されたソロコンクールに優勝。2001年にベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーの最年少スカラシップ生となり、クラウド・シュートールに師事。17歳でベルリン・フィルのオーディションに合格した。これまでにザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭をはじめ、多くの著名なオーケストラと共演しているほか、室内楽の活動も精力的に行っている。彼のために作曲され、初演を任された作品も多く、ハインツ・ホリガー、ポール・デセン、エフレイン・オッシャー、アルトゥーロ・パンタレオン、マティアス・オッカート、ルイス・アントウネス・ペナ、藤倉大、ローランド・モーザー等の作曲者が挙げられる。ドイツのPhil.Harmonieから多数CDもリリースしており、特に彼の18世紀音楽への情熱を感じられる録音が多い。

オフィシャルサイト<http://www.edicsonruiz.com/>



次回
予告

第449回定期演奏会

2025.3.8(土) 15:00開演
[14:00開場] 広島文化学園HBGホール

ガーシュウィン:「ストライク・アップ・ザ・バンド」序曲 ラプソディ・イン・ブルー
キューバ序曲 セカンド・ラブソディ(オリジナル版)
交響的絵画「ポーギーとベス」(ベネット編曲)

同プログラムで
開催

オーケストラ福山定期 Vol.6 2025.3.9(日) 14:00開演(13:15開場)
ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ



指揮・ピアノ: ウェイン・マーシャル